

「3キリ運動」と「30・10運動」で 生ごみを減らしましょう!!



「かのや3キリプロジェクト」
推進ロゴマーク

平成28年度に市内で排出されたごみの総量は約33,240トンで、そのうち可燃ごみは約25,046トンでした。中でも生ごみの占める割合が大きく、可燃ごみの約36%でした。このことから、ごみ減量の対策として、生ごみの排出を減らすことが必要であると分かります。

市では、生ごみや食品ロスを削減するため、「3キリ運動」と「30・10運動」の、2つの運動を推進しています。

生ごみ減量のため、みんなで積極的に取り組みましょう。

問 市生活環境課 (5階) ☎0994-31-1115

「3キリ運動」とは？

「3キリ運動」とは、生ごみを減らすために簡単に取り組める、3つの「キリ」を総称した取り組みのことです。具体的には、次の3つの取り組みになります。

水
キリ

ごみを出す前に「水キリ」



生ごみの約80%は水分です。水切りをすることで生ごみは減らせます。また、水分を減らすことで、ごみ袋の重さも減らせます。

三角コーナーや水切りネットなどを適切に使い、生ごみを出す前にしっかり水を切りましょう。

食
ベ
キリ

アレンジ料理で「食べキリ」



がんばって作った料理も、残して捨ててしまっただけでは、生ごみになります。

まずは、作りすぎないようにしましょう。それでも残った場合は、適切に冷蔵・冷凍保存し、早めに食べるほか、アレンジレシピなども試してみましょう。

使
い
キリ

食材は残さず「使いキリ」



生ごみの中には、賞味期限切れなどで手をつけられずに捨てられているものもあります。期限切れになる前に使いきりましょう。

また、買い物の際は、冷蔵庫などにある食材をチェックし、必要な分だけ買うようにしましょう。

「30・10運動」とは？

飲食店等から排出される食品ロスのうち、約6割が来客の食べ残した料理といわれており、料理を食べきることも、生ごみ減量につながります。

市では、食品ロスを減らすために「30・10運動」を推進しています。

- 宴会などの乾杯後**30**分間は席を立たず、まずは料理を楽しみましょう。
- お開き前**10**分間は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。
- また、宴会などの幹事さんは、次のような呼びかけを行うことも効果的です。
- 乾杯前後＝「最初の30分間は、周りの人と歓談しながら、席を移動せずに料理を楽しみましょう。」
- お開き前＝「もうすぐお開きとなりますが、残り10分間は自分の席に戻って料理を食べきりましょう。」

「食べきり運動」図画コンクールの作品を募集

- 内容＝「食べきり」によるごみ減量を啓発する図画の募集
- 応募資格＝市内の小・中学生
- 作品規格＝八つ切りサイズの画用紙
- 応募方法＝作品裏面の右下に出品票を貼り付け、出品作品一覧表を添付し、各学校経由で応募
- ※個人での応募も可能
- ※出品票、出品作品一覧表は各学校に置いてあるほか、市ホームページからもダウンロード可能
- 応募期間＝7/14(金)～9/8(金)